

令和4年度 白川郷学園 保健体育科研究構想

【研究主題】一人一人の学びが加速し、「先を読む力」を発揮する姿を目指して

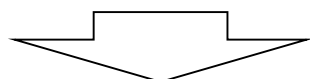
保健体育科が育てたい「ひとりだち」した人物像
生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するために、習得した知識や技能を活用して自他の課題を発見し、合理的な解決に向かって思考、判断ができる人物。

研究内容(1)9年間を見通した「先を読む力」の明確化

前期課程		後期課程
1～2年生	3～6年生	7～9年生
自己の運動の課題を知り、その解決方法が分かる。	自己や仲間の運動の課題を見つけ、その解決のための方法や活動を考える。	自己や仲間の運動の課題を見つけ、その解決のための方法や活動を選択・工夫する。

研究内容(2)児童生徒の多面的な実態把握と手立ての明確化

【日常的な実態把握】	【客観的データの活用】
・発言やつぶやき ・基本的な動きの習得度合い ・ノート、学習カード	・体力テスト ・定期テスト ・自己の演技の動画撮影



実態に適した児童生徒への手立ての明確化

研究内容(3)一人一人の学びが加速する学習活動の工夫

○学ぶ目的や必然を感じ、見通しをもって課題追究する導入の工夫	○試行錯誤を生み出す展開の工夫	○一人一人が学びを自覚し、自分でできた達成感を得られる終末の工夫
・示範や動画等と目指す姿を比較したり、活動していく中で見出した児童生徒の思考や欲求を大切にしたりするなど、実態に合った必然性のある課題設定ができるようにする。 ・個人目標の設定（個人種目）	・練習方法を選択したり、工夫したりできる指導計画や場の設定。 ・効果的に事故や仲間の動きを見つめ、動きを修正しようといえる場の設定。	・1時間の学びを視点に話合う場の設定。（成長、変化、困難、要因、仲間の働きかけ等）

和4年度 白川郷学園 ○○科研究構想（案）

【研究主題】一人一人の学びが加速し、「先を読む力」を発揮する姿を目指して

○○部が育てたい「ひとりだち」した人物像

研究内容(1) 9年間を見通した「先を読む力」の明確化

前期課程		後期課程
年生	年生	年生
		学習指導要領解説等を参照し、「教科の見方・考え方」を反映させましょう。低・中・高ブロックと9年間で俯瞰して捉えてみてください。 ※教科によって分け方の変更も可

研究内容(2) 児童生徒の多面的な実態把握と手立ての明確化

【日常的な実態把握】	【客観的データの活用】
・ ・ ノートの記述など、記録に残るものだと、後で検証し、変容を掴みやすいです。 特に重要な時間は生徒の発言等撮っておくとよいです。	・ ・ ・ 可能な限り数値化できる手立てだと、客観性が高いです。

実態に適した児童生徒への手立ての明確化

研究内容(3) 一人一人の学びが加速する学習活動の工夫

○学ぶ目的や必然を感じ、見通しをもって課題追究する導入の工夫	○試行錯誤を生み出す展開の工夫	○一人一人が学びを自覚し、自分でできた達成感を得られる終末の工夫
・ 目的・必然を感じる課題づくりと、追究方法を自ら見いだしていけるような手立て（段階はあると思いますが）を考えていきましょう。	・ 終末場面では、「<u>自分でできた</u>達成感」を得られるようにしたいです。 児童生徒が本時（単元）で何がわかり、できるようになったか、またそれは、どんな学び方ができたからなのか自覚を促したいです。9年間を通して、生徒一人一人が自分なりの最適な学び方「加速装置」を獲得できると理想的です。	

5月13日（金）までに作成。

D 教育課程→D4 研究推進→R4 研究構想

「教科構想図（もと）」をコピーして作成。